

2006年7月27日

平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(連結)

上場会社名 コード番号 7202	いすゞ自動車株式会社	上場取引所 東京証券取引所 本社所在都道府県 東京都
(URL https://www.isuzu.co.jp/investor/index.html)		
代 表 者 問合せ先責任者	取締役社長 井田 義則 総務人事部グループリーダー 甲山 博敏	TEL (03) 5471 - 1141

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

中間(連結)財務諸表の作成基準をベースにしつつ、税金費用の計算、減価償却費の計上、実地棚卸の省略など、一定の簡便な手続を採用している。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容)

在外子会社等の収益及び費用の換算基準について、従来、在外子会社等の決算日の直物相場により円貨に換算していたが、当連結会計年度より、期中平均相場により円貨に換算する方法に変更した。

この変更により、従来の方法によった場合と比べて、売上高は1,581百万円、営業利益は86百万円、経常利益は99百万円、税金等調整前当期純利益は99百万円、それぞれ減少している。

(3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容)

連結(除外)1社

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年3月期第1四半期	395,953	11.4	23,948	40.7	25,286	41.1	18,539	43.7
平成18年3月期第1四半期	355,298	10.2	17,021	25.1	17,925	13.6	12,902	△17.6
(参考)平成18年3月期	1,581,857		90,661		93,843		58,956	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成19年3月期第1四半期	15.60		10.34	
平成18年3月期第1四半期	11.05		6.60	
(参考)平成18年3月期	48.75		31.67	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

期中平均株式数(連結)普通株式 : 19年3月第1四半期 1,140,011,615株
 18年3月第1四半期 1,100,417,037株
 18年3月期 1,130,109,701株

(参考) 経営成績(単体)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年3月期第1四半期	225,474	12.4	17,672	63.0	18,693	△17.4	18,427	△12.4
平成18年3月期第1四半期	200,512	5.9	10,843	△8.0	22,644	109.9	21,046	77.6
(参考)平成18年3月期	917,895		53,506		64,149		46,476	

	1株当たり四 半期 (当期)純利益	潜在株式調整 後 1株当たり四 半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成19年3月期第1四半期	15.50	10.23
平成18年3月期第1四半期	18.02	10.76
(参考)平成18年3月期	38.31	24.96

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

期中平均株式数 普通株式：19年3月第1四半期 1,140,296,768株
18年3月第1四半期 1,100,743,185株
18年3月期 1,130,497,966株

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におきまして、国内市場については排ガス規制による買替え需要の継続と、中期経営計画に沿って進めている販売強化諸施策の成果により、販売台数は前年同期比4,611台の増加(25.4%増)、売上高は同285億円の増収(20.7%増)となりました。

また海外市場については、主にタイ生産ピックアップトラックの拡販と、海外販売体制の整備強化により拡販を推し進めている小型トラックの輸出増により、販売台数は前年同期比7,384台の増加(9.2%増)、売上高は同121億円の増収(5.6%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期における売上高は3,959億円(前年同期比11.4%増)、営業利益は239億円(前年同期比40.7%増)、経常利益は252億円(前年同期比41.1%増)、四半期純利益は185億円(前年同期比43.7%増)と増収増益になっております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切り捨て)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万 円	百万円	%	円 銭
平成19年3月期第1四半期	1,176,549	288,548	22.0	165.76
平成18年3月期第1四半期	1,102,502	185,418	16.8	101.23

(参考) 平成 18 年 3 月期	1,168,697	244,350	20.9	152.05
-------------------	-----------	---------	------	--------

(注)期末発行済株式数(連結) 普通株式 : 19 年 3 月第 1 四半期 1,140,003,082 株
18 年 3 月第 1 四半期 1,140,151,576 株
18 年 3 月期 1,140,030,826 株

(参考) 財政状態(単体)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	銭
平成 19 年 3 月期第 1 四半期	868,851	242,896	28.0	151.63
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	775,509	203,475	26.2	117.03
(参考) 平成 18 年 3 月期	867,698	231,289	26.7	140.56

(注)期末発行済株式数 普通株式 : 19 年 3 月第 1 四半期 1,140,288,235 株
18 年 3 月第 1 四半期 1,140,477,724 株
18 年 3 月期 1,140,306,872 株

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第 1 四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べて 441 億円増加の 2,885 億円となりました。これは、当四半期純利益 185 億円の獲得、配当金 44 億円の支払に加えて、当連結会計期間より「資本の部」が「純資産の部」に変更された影響で、従来の「資本の部」に含まれていなかった「少数株主持分」など 297 億円が「純資産の部」に加算されていることによるものです。

また有利子負債は、前連結会計年度末に比べて 84 億円減少の 3,412 億円となりました。

[参考] 平成 19 年 3 月期の連結業績予想(平成 18 年 4 月 1 日~平成 19 年 3 月 31 日)

平成 18 年 5 月 16 日公表の「平成 19 年 3 月期の連結業績予想」からの変更はありません。

▶ 優先株情報

▶ 1 株当たり情報

▶ (要約)四半期連結損益計算書

▶ (要約)四半期連結貸借対照表

▶ 地域別販売実績

<新型ピックアップ・トラック「いすゞD-MAX」の特徴>

1. 名称の由来 : Dは、ディーゼル (Diesel) ・直噴 (Direct Injection) ・デザイン (Design) ・ 耐久性 (Durability) から引用。
: MAXは、デザイン・サイズ・快適性・テクノロジー・パフォーマンス・安全性・耐久性・ラインアップの最大、最極化を表現する。
2. 開発の狙い : 感性への訴求と人間工学を両立したエレガントデザイン。
革新的テクノロジーと細部にわたる高品質。
タフな信頼性。
3. 車型構成 : 幅広い顧客層に対応するベストセラーの「スペースキャブ」、ラグジュアリー・ハイグレードの「CAB4」 (クルーキャブ)、コマーシャルユース向けの「スパーク」 (レギュラーキャブ)、の3つのキャブタイプを設定。
又、スペースキャブ、CAB4にはオフロード性能を追求した4WD「ロデオ」を設定。
4. エンジン : 3リッター及び2.5リッターコモンレールディーゼルエンジン、及び、新型高性能3リッターコモンレールディーゼルエンジンの3機種をラインナップ。
5. 新規採用装備 : エクステリア プロジェクターヘッドランプ
ア マルチリフレクタータイプリアコンビネーションランプ
インテリア エレクトロルミネセントメーター
マルチインフォメーションディスプレイ
WMA MP3対応CD付きオーディオ

※派生車「MU-7」(多目的車)も、同時にモデルチェンジし、タイ国内で発売する。

<参考>

生産会社<泰国いすゞ自動車 (IMCT) 概要>

会社名	泰国いすゞ自動車 (Isuzu Motors Co., (Thailand) Ltd.)
所在地	タイ サムットプラカン県
設立年月	1966年
資本金	85億バーツ

事業内容	大型・小型商用車・ピックアップの生産
生産実績	2004年 ピックアップ 234,419台 2005年 ピックアップ 319,643台
生産能力	22万台（除くKD）

以上